

第43回全日本ライフセービング選手権大会 チーム参加募集要項

全日本2017

チーム1次要項

第43回全日本ライフセービング選手権大会
実行委員会

■日程会場

- | | | |
|------------------------|-----------------|--------------|
| ①西日本地区予選会 | 9/3(日) | 若狭和田海岸(福井県) |
| ②中部地区予選会 | 9/9(土)・9/10(日) | 下田白浜海岸(静岡県) |
| ※兼 第4回中日本ライフセービング選手権大会 | | |
| ③東日本A/B地区予選会 | 9/16(土)・9/17(日) | 御宿海岸(千葉県) |
| ④本選 | 10/7(土)・10/8(日) | 片瀬西浜海岸(神奈川県) |

- 主催 特定非営利活動法人 日本ライフセービング協会
- 後援 調整中
- 特別協賛 第一三共株式会社(予定)
- 協賛 調整中
- 協力 調整中

■競技種目 [個人種目]

- 01 サーフレース(女)
- 02 サーフレース(男)
- 03 サーフスキーレース(女)
- 04 サーフスキーレース(男)
- 05 ボードレース(女)
- 06 ボードレース(男)
- 07 オーシャンウーマン
- 08 オーシャンマン
- 09 ビーチフラッグス(女)
- 10 ビーチフラッグス(男)
- 11 ビーチスプリント(女)
- 12 ビーチスプリント(男)
- 13 2kmビーチラン(女)
- 14 2kmビーチラン(男)

[チーム種目、BLS アセスメント]

- 15 レスキューチューブレスキュー(女子4名1チーム)
- 16 レスキューチューブレスキュー(男子4名1チーム)
- 17 ボードレスキュー(女子2名1チーム)
- 18 ボードレスキュー(男子2名1チーム)
- 19 オーシャンウーマンリレー(女子4名1チーム)
- 20 オーシャンマンリレー(男子4名1チーム)
- 21 ビーチリレー(女子4名1チーム)
- 22 ビーチリレー(男子4名1チーム)
- 23 BLS アセスメント(2名1チーム抽選により選出)

- ◇ (下線) は、予選会を行う種目です。
- ◇ 個人種目において、前年2016年度「第42回全日本ライフセービング選手権大会」上位1~8位に入賞した選手は、入賞した種目の予選会でのレースを免除します。ただし、予選会免除者としての申請がない場合は、予選会からの出場となります(申込用紙に記入の際にご注意下さい)。来年度以

降について、上位1～8位に入賞した選手に予選会免除を適用していくかは検討中です。

- ◇ チーム種目は各チームから1チームのみのエントリーとします。
- ◇ BLS アセスメントはエントリー制となります（予選会では行わず、研修会を実施する予定です）。この競技に参加しないチームは、チーム総合の表彰対象となりませんのでご注意ください。
- ◇ BLS アセスメント詳細に関しては、後日、要項を送付いたします。

■**競技規則** 競技規則 2016 年版に則って実施します。

■**予選会**

予選会につきましては、下記の通り指定された地区予選会に出場して下さい。

- ◇ 東日本は、AおよびBの2つの地区に分かれています。ご注意ください。
- ◇ クラブのエリア分けは、クラブの主たる活動の拠点がある都道府県とします。
- ◇ エリア分けについては、下記のとおりとします。

1. **東日本A地区** （千葉、茨城、栃木、群馬、埼玉）
2. **東日本B地区** （東京、神奈川、山梨）
3. **中部地区** （静岡、愛知、三重、岐阜）
4. **西日本地区** （富山、石川、福井、京都、滋賀、大阪、奈良、和歌山、兵庫、鳥取、岡山、島根、広島、山口、香川、徳島、愛媛、高知、長野）
5. **全エリア選択可能地区** （新潟、北海道、青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島、福岡、大分、佐賀、長崎、熊本、宮崎、鹿児島、沖縄）

■**本選出場枠**

本選出場枠については、下記の通りとします。

- ・本選出場数について：各種目において決勝、準決勝、予選等の設定から人数を割り出す。決勝、準決勝、予選等の設定については、各種目の予選会エントリー数や種目の特性を鑑み設定する。

<例>

種目A 決勝 15名、準決勝 45名（1H15名×3H、5UP）、予選 135名（1H15名×9H、5UP）
本選出場 135名

- ・各予選会での本選出場枠について：本選出場数を各地域の種目エントリー数にて割合を均等化する。均等化出来ない場合は、近づける。また、エントリー数が1以上あれば、均等化にかかわらず最低1は与えられる。予選免除者からエントリーが出た場合は、本選出場数からマイナスされ均等化される。

■**タイムテーブル**

参考までに、2016年度実施版のタイムテーブルを掲載します。

詳細は、エントリー集計後の2次要項でお知らせいたします。予選会は、例年通り本選出場者を決定する大会として決勝は行いません。

■**得点と表彰**

本選では、各競技上位1～8位を入賞とします。1～3位はメダルを授与し表彰式で表彰します。また、チーム総合得点により、上位1～8位を入賞とし、1～3位は表彰状を授与し表彰式で表彰します。

なお、ライフセービングチーム最優秀の証として、総合優勝チームには日本ライフセービング協会理事長杯が贈られます。

決勝の結果に対して得点を加算し、個人、チーム種目とも同じ得点とします。なお、同種目に同じチームの選手が入賞した場合も以下の通り得点が加算されます。ブロッキングシステムは採用しません。配点は以下の通りです。

1位-8点、2位-7点、3位-6点、4位-5点、5位-4点、6位-3点、7位-2点、8位-1点

1. チームの総合得点が同点の場合2は、1位の種目の多いチームを、1位の種目が同数の場合は、2位の種目の多いチームを・・・というように総合順位を決定します。
2. 決勝で失格の場合は0点とします。

3. 総合順位は、実施種目の70%以上の最終競技結果をもって成立するものとします。

■審判員の選出（本大会に選手登録をしていない方）

予選会への参加チームは以下のとおりに認定審判員を、チームエントリーと同時に選出しなければなりません。認定審判員を選出していないチームはエントリーが受け付けられません。

また、大会期間を通じて参加できることを原則とし、例外的に参加日ごとに審判員が入れ替わることも可能とする。しかしその場合も、交通費は1名分（上限5,000円のみ）と致します。準一般会員の審判員の方には交通費の支給はございません。なお、選出した審判員が参加できなくなった場合は、必ず代替わりの方を選出してください。

選出人数については、下記のとおりとします。

【西日本地区予選会・中部地区予選会】

◆選手 5～20名=1名 ◆21～40名=2名 ◆41名以上=3名

【東日本地区予選会A・B】

◆選手 5～15名=1名 ◆16～30名=2名 ◆31名以上=3名

【本選について】

本選においては、審判員選出の規定は適用されません。（※ご希望の方は、任意でお申込下さい）

【申込み】

別紙の審判員募集要項を確認の上、「審判員・スタッフ参加申込書」を提出してください。

■海外選手（日本国以外に国籍を持つ者・日本国永住者は除く、また日本国に住民票登録のない日本国籍を持つ者）の出場登録について（詳細別紙参照）

以下の条件を満たす海外選手は国内クラブの一員として出場登録を認めます。満たさない場合でもオープン参加は可能ですので、別紙「オープン参加規定」をご参照ください。

- (1) 大会参加規定に準じていること
- (2) ILSに加盟している出身国代表組織の承認書を提出すること
- (3) 国内出場クラブ長の承諾書を提出すること ※ホームページに掲載

※原則として、(2)(3)の書類提出期限は、参加申込と同様とさせていただきます。

■ワイルドカード枠について

趣旨と狙い：予選会場から遠い、まだ競技が盛り上がっていない、などの理由で出場のないクラブを対象として、予選を免除して全日本本戦に直接足を運んでもらい、全日本選手権を体験していただくことで、ライフセービングスポーツの振興を図ります。

◇ 対象クラブ：昨年、全日本選手権大会（本戦および予選会）の出場エントリーがなかったクラブ

◇ 対象種目：

01 サーフレース（女）

02 サーフレース（男）

13 2km ビーチラン（女）

14 2km ビーチラン（男）

◇ 人数：それぞれの種目において6人ずつ。募集以上の人数が来た場合には、各クラブ均等に出場者をならし、枠が足りない、もしくは余る場合には抽選で選びます。

◇ ワイルドカード枠を希望する方は、「サーフレース」、または、「2km ビーチラン」の欄に“5”（半角数字）を入力してください（詳しくはエントリーの手引きでご確認ください）。

◇ 来年度以降の大会でこの仕組みを継続するかは大会終了後に別途検討します。

■エントリーについて

◇ 予選免除者であっても、予選会のエントリーが必要です。

※予選免除者の「参加申込データ（B）」への入力「3」ですのでご注意ください。

◇ 予選会にエントリーせずに本選会のチーム種目に出場（エントリー）することはできませんので、本選会のみチーム種目に出場する予定の選手も、予選会にエントリー下さい。

- ◇ 第9回全日本ユースライフセービング選手権大会【高校生の部】のサーフレース・ボードレース・ビーチフラッグスに出場し、1位～8位までに入賞した選手（中学生）においては、本大会の地区予選会に出場することができます（但し、入賞した種目のみで、チーム種目は不可）。

■参加費

- ◇ 東日本A・B予選会/西日本予選会/中部地区予選会
選手1名につき8,000円（高校生・中学生については選手1名につき4,000円）とします。なお、個人種目のエントリーは選手1名につき2種目までとします。（チーム種目、BLSアセスメントはこの限りではありません。）
なお、予選免除者であっても、エントリー費が必要です。
チーム種目については、1種目につき5,000円が必要です。
- ◆ 申込締切後であっても、エントリーミスによる出場種目の変更が可能です。
但し、8月9日（水）申込締切時にエントリーされている（選手登録している）方のみ対象とし、新たな選手のエントリーは認められません。
変更手数料として、1つの変更につき、3,000円（※高校生・中学生一律）の手料を頂戴いたします。なお、チーム種目については、変更手数料の他、当初エントリーしている種目数よりも増える場合には、1つの種目増加につき、5,000円別途必要となります。
振込先は参加費と同様の口座です。期限内に必ず振込下さい。
期限内に変更手数料の振込のない場合は、変更を受付ません。
例： 種目を1つ変更＝＋3,000円 種目を2つ変更＝＋6,000円
 種目を2つ変更（＋6,000円）&当初よりもチーム種目が1つ増加（＋5,000）＝＋11,000円
- ◇ 出場種目の変更申込後に、出場登録の取り消し、天候その他の理由により、大会のタイムスケジュール変更や、やむを得ず中止になった場合でも参加費は返還されません。
- ◇ 参加選手が欠場、あるいは失格となった場合でも、変更手数料は返還されません。

■宿泊/食事

- ・西日本地区予選会
【宿泊・昼食弁当】若狭高浜観光協会がご紹介いたします。別紙申込書をご利用ください。
○若狭高浜観光協会 電話 0770-72-0338
- ・中部地区予選会（第4回中日本選手権大会）
【宿泊】伊豆白浜観光協会がご紹介いたします。お問い合わせください。
電話 0558-22-5240、FAX0558-22-5280、E-mail info@izu-shirahama.jp
【食事】各チームでご用意ください。
- ・東日本地区予選会
【宿泊】御宿町観光協会に別紙にて直接お申込み下さい。
【食事】各チームでご用意ください。

■代表者会議

競技上の注意事項や大会に関わることについて説明をする代表者会議を開催します。詳細につきましては2次要項でご案内します。チーム代表者は必ずご出席ください。なお、やむを得ずチーム代表者が出席できない場合は、参加選手で代表者に準ずる方の出席をお願いします。

■ラッシュガードの着用について

公式競技会におけるオーシャン競技・サーフ種目におけるラッシュベストの着用は義務となります。ラッシュベストの着用なしでの参加は認められません。

（以下、案内は続きます）

■申込締切日（チーム、審判員）

<予選会>

提出方法提出書類等の概要		提出方法	提出期限(締切)
データ/書類	●チーム/選手エントリーデータ (チームエントリーフォームA・B・C)	メール	8月9日(水)24:00 受信分まで
	●同意書 (チームエントリーフォームD)	郵送	8月9日(水)当日消印有効
	●PR アンケート		
	●外国人選手出場登録 ※該当者のみ		
	●審判員申込用紙	郵送またはメール	8月9日(水)24:00 受信分 (メール)、 8月9日(水)当日消印有効(郵送)
	●(希望者のみ) エントリーミスによる出場種目の変更の 申込エクセルデータ	メール	8月14日(月)<各チームのエントリー 確認データをホームページ上にアップ ロード掲出しますので、各チームご 確認ください> ～ 8月18日(金)24:00 受信分
振込	●予選会参加費の振込	「大会エントリーの手引き」、参加費の振込をご参照の上、手続き下さい	8月9日(水)当日消印有効
	●選手の個人年会費 (2017年度 正会員/一般会員/高校生会員)	http://www.jla.gr.jp/home.htm 「会員になるには」をご参照の上、手続き下さい	
	●チームの団体年会費 (2017年度 団体正会員 or 団体一般会員)		
	●(エントリーミスによる出場種目の変更 希望者のみ) 変更手数料	参加費の振込先と同様の口座	8月18日(金)当日消印有効
注)	<p>※締切りを過ぎたものや書類の不備、上記の提出書類が揃っていない場合は、受け付けませんので、ご了承ください。</p> <p>※参加規定を満たしていない場合、参加費の未納等により、大会参加を受け付けない場合がありますのでご注意ください。</p> <p>※参加申し込み締切り日までに、会員登録および会費納入の手続きをされていない団体・個人会員の方(チーム選出の認定審判員も含む)は、本大会に出場できませんので、予めご了承下さい。</p>		

■提出先

- メール提出先 ; compe@jla.gr.jp
 ※必ず受信完了メールが届きます。1週間経っても JLA 事務局から受信完了メールが届かなければ、お手数ですがお電話にてお問合せ下さい。
- 郵送提出先 ; JLA 事務局
 〒105-0013 東京都港区浜松町2-1-18 トップスビル1F

第43回全日本ライフセービング選手権大会 参加規程

1 参加資格

競技者の参加資格は下記の4点を共に満たしている者、若しくは本協会が特別に参加を認めた者でなければならない。

- 1-1 競技者は、大会初日当日満15歳以上でなければならない。(但し中学生を除く)
- 1-2 競技者は、ライフセービングを志し、出場する競技会の過去1年以内に海岸やプール等水辺での監視・救助活動、協会が認める教育活動に25時間以上従事した者でなければならない。(但し中学生を除く)
- 1-3 競技者は、本協会の個人正会員、個人一般会員、もしくは個人高校生会員として登録されていなければならない(申請中も含む)。※申込締切期日までに、必ず年会費をお振込下さい。(但し中学生を除く)
- 1-4 競技者(一般)は、ベーシック以上の資格を所有していなければならない。
競技者(高校生)は、BLSおよびWS以上の資格を所有していなければならない。
※申込締切期日までに、必ず規定以上の資格を取得していること。
(別紙「2017 競技会参加規定とライフセービング資格連動の件」を参照)

2 チーム構成

- 2-1 チームは、本協会の団体正会員、若しくは団体一般会員として登録され、本協会に登録されている団体名で出場しなければならない。また、1団体からの出場は1チームとする。
- 2-2 チームは、同じクラブに所属する競技者により構成されていなければならない。

3 チーム名

参加チーム名は団体正会員もしくは団体一般会員名とする。

4 出場登録

- 4-1 参加選手は個人種目、チーム種目にかかわらずあらかじめ所定の用紙を用い出場種目を登録しなければならない。なお、登録後の出場種目の変更及び未登録の種目への出場はできない。
- 4-2 登録種目数は、1人2種目を限度とする(但し、チーム種目、BLSアセスメントは除く)。

5 チーム代表者

各参加チームはチームを代表する者としてチーム代表者を1名おこななければならない。なお、チーム代表者と選手はこれを兼任することができる。

6 チームユニフォーム及び競技中の衣類

- 6-1 各チームは、式典や表彰式および競技に適したユニフォーム、水着、キャップ、ラッシュガードを持たなければならない。
- 6-2 ユニフォーム、水着、キャップの性質、デザインが一般良識に反すると主催団体が判断した場合は、いかなる競技者も競技に参加することができない。
- 6-3 キャップは、競技会の申込締切前までに本協会に登録が完了していなければならない。※キャップ登録は、すでに登録を済ませ変更がない場合は必要ない。
- 6-4 チームのユニフォーム、水着、キャップ、ラッシュガードに競技会のスポンサーと対立するような商標、商標名があると主催団体が判断した場合、その対応は主催団体の指示に従わなければならない。

7 参加費

- 7-1 参加費は、参加申し込みの締切日までに支払わなければならない。
- 7-2 変更手数料は、あらかじめ指定された期日までに支払わなければならない。

8 競技器材

- 8-1 競技で使用する器材はライフセービング競技規則2016年版「第7章 器材の規格」の基準を満たさなければならない。
- 8-2 オーシャン競技で使用するレスキューチューブは、主催団体が用意するものとする。
- 8-3 主催団体は、競技者の器材の検査・再検査を競技前、競技中、競技終了後任意に行うことができる。器材が基準を満たしていない場合は、その競技者はその器材を使用できないか、または失格となる。

8-4 競技者は、主催団体から器材にステッカー等の標示を添付する指示があった場合は、それに従わなければならない。

9 競技規則

9-1 この他の競技規則は「ライフセービング競技規則（2016年版）」に則って行う。

10 審判員の選出（本大会に選手登録をしていない方）

10-1 西日本、中部、東日本の各予選に関しては、それぞれのチームが出場する予選会について参加チームは認定審判員を選出しなければならない。

11 代表者会議

11-1 大会開催に先立ち代表者会議を実施するので、チーム代表者は必ず出席すること。なお、やむをえずチーム代表者が出席できない場合は、同チームの参加選手で代表者に準ずる者が出席すること。

12 その他

12-1 大会中に大会主催者および大会主催者が認めた者が撮影した写真、映像を、ライフセービングの広報の目的で使用することがある。

12-2 大会中に大会主催者が撮影を制限したり、拒否したりすることがある。

12-3 大会主催者への提出書類の記載事項に虚偽が認められた場合、大会への参加や記録が取り消されることがある。

（ 以上 ）